

熊本県で「熊本山鹿ソーラーパークB」が竣工 3次元架台「スマートアレイ」を分散配置

スマートソーラー

太陽光発電の開発・施工・運営を手掛けるスマートソーラーは、熊本市で建設を進めていた「熊本山鹿ソーラーパークB」の竣工式を開催した。

同ソーラーパークBは、同社が山鹿市と和木町で開発してきた熊本県最大級となるメガソーラープロジェクトの一つ。

高効率単結晶太陽電池モジュール（310ワット）を8277枚設置した。最大出力は1960瓩で、年間予想発電量は一般



「熊本山鹿ソーラーパークB」全景（提供：スマートソーラー）

家庭約800世帯分の消費電力に相当する279万8000瓩時を見込んでいます。丘陵地の地形を生かした造成を最小限にした。

同社が開発した3次元架台「スマートアレイ」を分散配置し、分散型PCS（40瓩）を採用して、影・方位・傾斜角のばらつきに伴うロスを最小化した。また、保守管理を高度化するため、遠隔監視システムを構築した。

熊本山鹿ソーラーパークは、A・B・C・Dの4つの発電所から構成され、4発電所合計の設置容量は53メガワットとなる。A（最大出力1960瓩）は今年5月に稼働し、C（最大出力3万瓩）は現在建設中、Dは開発準備中だ。同メガソーラープロジェクトは2020年5月に完成する予定。

熊本山鹿ソーラーパークB 建設工事



竣工式の様子（提供：スマートソーラー）

スマートソーラーは、全国35カ所、合計230メガワットのメガソーラーの開発を手掛ける。すでに全国23カ所（67メガワット）の発電所を建設・稼働させ、4カ所のメガソーラー（95メガワット）を建設中。自社所有発電所は8カ所（15・5メガワット）、出資発電所は11カ所（138メガワット）になる。